

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

1. はぐくらぶ

事業名称	親子で体験活動をとおして、家族・地域のふれあい支援
事業概要 (事業計画より抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・ルアーづくり体験 (8 月) ・親子金銭教育 (11 月) ・アロマクラフト (12 月) ・親子クッキング (1 月)
申請コース	初動支援 (活動 3 年以内/補助 4 分の 3/限度 10 万円)
補助金申請額	99,000 円 (事業総額 132,000 円)
平均審査点	30.33 点 (合計 50 点満点)
審査コメント	<p>設立から 3 年目を迎え、固定的な参加者も増加するなど、少しずつ広がりが出ているように思われます。</p> <p>しかし、自己資金が少ないことや、PR が足りないことなど、市民公益活動団体としては、まだまだ初歩の段階にあるといえるのではないのでしょうか。</p> <p>今回で、初動支援コースの補助交付は 3 回目で、最後の交付となります。そこで、今回は、さらなる発展・拡大を課題として活動に取り組んでください。例えば、支出に応じた参加費を徴収するなど、資金面での自立性と活動の継続性を推進していただきたいと思います。</p>
補助金査定額	99,000 円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

2. 朗読サークルみち

事業名称	夢いっぱい みちの音楽朗読
事業概要 (事業計画より抜粋)	・ラブリーホールで3作品の音楽朗読を開催(8月8日)
申請コース	初動支援(活動3年以内/補助4分の3/限度10万円)
補助金申請額	78,000円(事業総額226,000円)
平均審査点	36.00点(合計50点満点)
審査コメント	<p>設立2年目の団体とはいえ、演奏などに非常に高い技術を持っておられるように思います。</p> <p>今後は、活動の自立性・持続性を確保するためにも、適正な参加費や出演料を徴収することを意識して活動してください。</p> <p>また、団体の認知度の向上に努めてください。今回の申請事業であるラブリーホールでの公演を、認知度を上げるキッカケにして、様々な方法で積極的にアピールしていただきたいと思います。</p>
補助金査定額	78,000円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

3. NPO法人ASUHE

事業名称	エンディングノートの出版
事業概要 (事業計画より抜粋)	・エンディングノートの出版
申請コース	初動支援 (活動 3 年以内/補助 4 分の 3/限度 10 万円)
補助金申請額	97,000 円 (事業総額 160,000 円)
平均審査点	30.00 点 (合計 50 点満点)
審査コメント	<p>今後の超高齢化社会の到来を考えると、エンディングノートの出版は、非常に先見性のある活動だと思います。</p> <p>ただし、単に希望すれば誰にでも無条件に無償で配るという方法では、一部の人の利益にしかならず、広く市民の利益になるとはいえません。</p> <p>実際、エンディングノートは、すでに市販のものもありますが、買わないという人も多く、これからもっと必要性や重要性を啓発する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>そこで、今回の事業では、単に出版・配付するだけでなく、普及啓発の役割も担ってほしいと思います。</p> <p>例えば、市民を対象とした「エンディングノートの書き方講習会」を実施して参加者にノートを配布するなど、数に限りのある貴重なエンディングノートを有効に活用して、普及啓発に努めていただきたいと思います。</p>
補助金査定額	97,000 円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

4. 綴り方と話し方のクラブ“アイ・マイ・ミー”

事業名称	「生きるって素晴らしい！！」を実感できる講座
事業概要 (事業計画より抜粋)	・高齢者を対象とした「エッセイ」や「自分史」の作り方講座
申請コース	初動支援（活動 3 年以内／補助 4 分の 3／限度 10 万円）
補助金申請額	100,000 円（事業総額 134,800 円）
平均審査点	30.00 点（合計 50 点満点）
審査コメント	<p>受講者の実人数が 10 名という講座では、受講する限られた人のみが利益を受けることになり、受講者と団体の自己満足・趣味的な活動とも捉えかねられず、市民全体への公益性が不足するといわざるをえません。</p> <p>そこで、市民公益活動団体として活動を広げるため、今回の講座に関するチラシやポスターなど、様々な手法での PR を通じて、市民への浸透を積極的に図ってください。</p> <p>また、将来に渡って持続的に団体運営を行えるよう、適正な受講料の徴収を心がけてください。</p>
補助金査定額	100,000 円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

5. 木戸本郷自治会

事業名称	木戸本郷ふれあい広場の整備
事業概要 (事業計画より抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・河内長野市の用地（遊休荒地）を借用し、整地と安全フェンスの設置 ・オープニング・セレモニーにて、ラジオ体操・グランドゴルフ教室・竹細工教室の実施（7月） ・夏休みのラジオ体操（8月） ・大根炊（1～2月）
申請コース	自主事業支援（活動1年以上／補助2分の1／限度30万円）
補助金申請額	147,000円（事業総額295,000円）
平均審査点	36.33点（合計50点満点）
審査コメント	<p>限られた資源を活かし、地域の活性化につながる優れた事業であると考えられます。</p> <p>そこで、自治会の会員だけでなく、より多くの周辺住民を巻き込むため、整備後のイベントなどについては、若い世代の住民などと一緒になってアイデアを出し、話し合える場を設けて、企画を進めていただきたいと期待します。</p> <p>これによって、例えば、大きな災害が発生した時に必要とされる「みんなで考える」というトレーニングにもつながり、自治会への加入者の増加や、コミュニティの充実も図れるのではないかと思います。</p>
補助金査定額	147,000円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

6. フィリピンAKAYプロジェクトをともに創る南河内の会

事業名称	マニラと河内長野をつなぐ！国際連帯・地域の輪 アジアの片隅からポールガランと共に子どもの願いP E A C E コンサート
事業概要 (事業計画よ り抜粋)	・多文化共生フェスタとコンサートを開催
申請コース	自主事業支援（活動1年以上／補助2分の1／限度30万円）
補助金申請額	200,000 円（事業総額 400,300 円）
平均審査点	30.33 点（合計 50 点満点）
審査コメント	<p>今回の申請事業の目的をふまえ、フィリピンの教育施設への経済支援を第一義とするのではなく、市民に対する公益性の観点を心がけ、国際交流や多文化共生について市民への普及啓発に取り組むことを最優先として事業を実施してください。</p> <p>ただし、ラブリーホールでのコンサートだけでは、参加者が限定され、一部の市民への浸透にとどまると考えられることから、普及発展性の観点をより重要視し、国際交流の貴重な機会を有効活用するよう、例えば、学校やその他の市内施設などとの連携を探ることも検討してください。</p> <p>また、これまで以上に多くの学生ボランティアなどの協力を得るなどで、若い世代をはじめ、多様な市民に企画運営に携わってもらえるよう努力してください。</p>
補助金査定額	200,000 円

平成 24 年度「市民公益活動支援補助金」に係る審査結果

7. 特定非営利活動法人成年後見支援・普及センター

事業名称	親族後見人に対する支援活動プロジェクト
事業概要 (事業計画より抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会の開催（10月、11月、12月 計3回） ・研修会の開催（1月 2回連続講座）
申請コース	自主事業支援（活動1年以上／補助2分の1／限度30万円）
補助金申請額	230,000円（事業総額467,790円）
平均審査点	30.00点（合計50点満点）
審査コメント	<p>社会課題を解決するための一つのアプローチとして、必要不可欠な活動だと考えられます。</p> <p>ただし、親族後見人という制度は、市民の生活に密着した問題であることから、相談会の開催という待ちの姿勢にとどまらず、様々な機会を通じて、相談を呼び込むような積極的な普及啓発をすすめてください。</p> <p>また、今回の申請事業をきっかけとして、河内長野市内に活動の拠点を構え、河内長野市民を対象として活動を行ってください。</p> <p>なお、冊子等印刷製本費については、相談会と研修会の参加者人数分のみを補助金の対象とします。</p> <p>また、チラシ等送付用封筒代と郵便料については、相談会・研修会のPRとして有効とは考えにくく、直接的な関連性が明確ではないため、補助金の対象外とします。</p>
補助金査定額	158,000円（事業総額317,890円）